

ご紹介

「JAPIO中小企業等特許先行技術調査支援サービス」

利用者アンケート集計結果から分かった利用事例

アンケート実施期間：2013/9/1-2013/10/18

お礼:アンケート調査を実施して

中小企業や個人の出願人の方々のお役に立ちたいと思い、「Japio中小企業等特許先行技術調査支援サービス」を初めて今年で3年目になります。

今までに多くのお客様にご利用いただきましたが、まだまだこのサービスをご存じないお客様も多くいらっしゃいます。また、調査報告書をはじめ、このサービスをどう活用していくのか、よくわからないという方もいらっしゃると思います。

そこで、利用実態に合った、より良いサービスにするためのヒントを集めようと、今回このアンケート調査を行いました。

お寄せいただいた回答を拝見して、「**審査請求するかどうかの判断材料を提供する**」という当方が考えた目的以上に、活用していただいていることが分かりました。

ここに調査にご協力いただいた皆様、お礼を申し上げますとともに、お寄せいただいた活用の事例をご紹介します。

また、この事例集がお読みいただく皆様のお役にたてば幸いです。

ありがとうございました。

利用事例1

- Japioの先行技術調査を利用していなかった時は、調査対象を選択して先行技術調査を行っていた。
- Japioの先行技術調査を利用するようになってからは、全ての出願に対し先行技術調査を行えるようになった。結果として、無駄な審査請求をしなくなっ、コストダウンに繋がっている。
- Japioの先行技術調査の活用法
国際出願、審査請求を行うか否かの判断材料となっている。
- Japioの先行技術調査を利用した効果
自社出願の技術と、どこのどの技術が抵触しているかを確認することができる。

利用事例2

- Japioの先行技術調査利用のきっかけ
確実な特許の取得には、**先行調査が重要であるとのアドバイス**を受けた。
- Japioの先行技術調査の利用法
先行調査の結果を踏まえて、社内で修正すべき箇所の打ち合わせを行った。また弁理士と相談の際の資料として使用し、出願した特許を修正した。
- Japioの先行技術調査の効果
無事に特許が取得できた。良心的な金額で調査ができる点良かった。

利用事例3

- Japioの先行技術調査利用のきっかけ
社内での先行技術調査が十分と思えなかった案件に関して再調査したかった。
- Japioの先行技術調査の活用法
社内調査でのモレの確認。
企画段階から開発への移行時の他社特許の確認。
早期審査請求の資料として利用。
専門家による先行技術調査と社内調査との比較が出来る。
- Japioの先行技術調査を利用した効果
報告書により、同一、類似なしとの結果により商品開発を安心して進める事ができた。専門家による検索式を学習する事ができた。同一・類似ありの場合は発明者へその内容を検討してもらい、差異の確認、対策をとる事が出来た。

利用事例4

- Japioの先行技術調査利用のきっかけ
最初の先行技術調査依頼は特許庁が無料で行っていた先行技術調査を利用した。特許庁のサービスが無くなって、Japioのサービスを利用するようになった。
- Japioの先行技術調査の活用法
報告書を踏まえて審査請求を提出。拒絶理由通知書が来ることを前提に、報告書を参考にして自分なりに前もって先願との違い等を考慮し、意見書等を仮に作っておき、拒絶理由通知書が来た時に内容に合わせて再考し意見書に反映、時間を短縮した。
- Japioの先行技術調査を利用した効果
個人では調べきれない事もあるので、2回目も利用。前回は調査結果とほぼ同じ先願の指摘が有り（その他適用条文の指摘は別として）慌てることなく（1カ月以内という時間）対処する時間がとれた。その分適用条文の指摘に時間を割く事が出来た。

利用事例5

- Japioの先行技術調査利用のきっかけ
審査請求するかどうかの社内判断の客観性が高まると思った。
- Japioの先行技術調査の活用法
調査報告書に基づいて、審査請求するかどうか、判断材料になっている。
- Japioの先行技術調査を利用した効果
社内の事前調査の見落としの補完、調査方法の改善などに役立っている。

ただいまキャンペーン実施中！

- より多くの皆様に本サービスをご利用いただくために、ただいま「**料金さらに半額キャンペーン**」を行っています。
- 期間中は、通常31,500円(消費税込)の調査料を**半額の15,750円**で先行技術調査をお引き受けします。
- **キャンペーン期間：2013年12月末まで**

皆様からの調査のご依頼をお待ち申し上げております。